



# 3月の園だより



令和2年3月1日  
小屋浦みみょう保育園

## ～保護者アンケートを終えて～

小学校の正門を入ると、沈丁花の甘い香りが春の訪れを感じさせてくれ、季節は冬から春へと移り変わろうとしています。

今年は、世界で猛威をふるう新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、ここにきて国内でも複数地域で散発的に発生しており、心配な状況が続いています。また刻々と状況も変化する中、予定されていたイベントも各地で中止され、不安も広がっています。一年をしめくくるこの時期、保育園でもいろいろな行事を予定しておりますが、コロナウイルス感染拡大防止のため、変更が生じるかもしれません。今後の対応につきましては、わかり次第皆様にお伝えしますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。また、保護者の皆様には登園時の子どもさんの検温や手指消毒等感染予防にご協力をいただいておりますが、ご家族の体調管理や健康チェックも合わせてお願いいたします。園内でも引き続き、保育室や玩具等の消毒、室内の換気、加湿器や空気清浄機を稼働させるなど、感染防止に努めてまいります。

保育園では、毎年、行事毎に保護者の皆様にご意見やご感想をいただいておりますが、この一年の保育の成果の把握とともに保育の質の向上を目指し、「保護者アンケート」を実施しております。今年は、お忙しい中にもかかわらず、90%とという高い回収率でした。ご協力ありがとうございました。

まず、『お子さんは毎日喜んで登園していますか』の項目では、ほとんどの家庭から「そう思う」と回答いただき、保育者や友だちといっしょに遊んだり生活することを楽しみに子どもたちが登園していることに何より嬉しく思いました。しかし、「行きたくない」と、ぐずぐず言うといった声もお聞きし、安心して登園できるよう一人ひとりの気持ちにしっかり寄り添い、家庭との連携もより大切にしていきたいと思いました。

『職員の言葉使いや対応、話を聞いてくれますか』の接遇態度の項目では、ほぼ満足していただいております、自由記述においても「先生から成長や失敗の話聞き、我が子の成長をしっかりと感じられます」「朝の挨拶も遠くから、おかあさん、おはようございますと、顔を見せてくれ、気持ちよく子どもを送り出せています」「家で自分で考え、製作したりして遊んでいるのは、園でいろいろな経験をしているからだと思いました」と、肯定的に受け止めていただき、職員の自信にもつながりました。『園だよりや園での様子をわかりやすく伝えていきますか』に対してほぼ満足いただいておりますが、職員一人ひとりが、もっと個々の成長を読み取る力をつけていくとともに、子どもたちは遊びと生活をとおしてさまざまなことを学び、このことが小学校での学びや生きるための基礎となることを、保護者をはじめ、地域にも発信し、地域の子育て支援の拠点としての責任を担っていきたく思います。また、「遊び」をとおして育つ姿をもっと具体的にお知らせし、家庭での子育てと保育の両輪をもって子どもたちの主体性を育てていきたいと思っております。

改善点や要望について、けがや噛みつきがあった際の対応について「すぐに知らせてほしい」と、ご意見がありました。子どもたちが安全に楽しく過ごせるよう職員皆で環境整備に気を配り、その時の状況や子ども同士の様子について、お話をさせていただきたいと思っております。年中組の午睡につきましては、子どもたちの様子を見ながら、午睡をなくしていく時期や調整期間を設けていますが、もっと計画性を持ち、無理なく午睡のない生活に入っていけるよう対応していきたいと思っております。アンケート結果は、保育園の評価でもあると真摯に受け止め、保育を振り返り、より充実した信頼される保育園の運営をめざしていきたいと思っております。

今年度もたくさんのご支援やご協力をありがとうございました。  
園長 舛野裕子

## 卒園式 14日(土)

心身ともに健やかに成長した年長ひまわり組8名の子どもの成長と門出を温かく祝福したいと思います。一人ひとりの思い出になる式になれば何よりです。

時間：午前11時 開式  
場所：小屋浦ふれあいセンター  
3階 大会議室

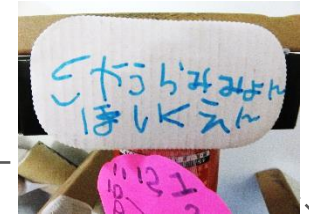
※年少・年中・年長児は10時20分までに小屋浦ふれあいセンター3階に集まってください。  
※年長組の保護者の方は、10時40分までに3階大会議室へお集まりください。  
※卒園式終了後、年少・年中児は年長児を見送り、降園となりますので、ふれあいセンターに11時50分頃お迎えをお願いします。  
※土曜日保育を希望される方は通常保育です。愛情弁当の用意をお願いいたします。

## 桃の節句・ひなまつり



ひな祭りはひな人形を飾って女の子のすこやかな成長と幸せを願う行事です。と言うと女の子だけの行事に思いますがもともとは「上巳の節句」「桃の節句」といい、年齢や性別を問わず幸せを願う邪気払い行事でした。男の子しかいない場合でも「桃の節句」としてお祝いし文化を伝えていきましょう。

保育園では3月3日(火)お誕生日会とともに、ひなまつり会を開催します。



## こんな保育園ができたらいいなあ「夢の新園舎づくり」

2月15日(土)保育参観の日、「夢の新園舎づくり」に挑戦した年中すみれ組の活動をお伝えします。起工式の様子や工事に取りかかっている保育園の様子を見ながら、「こんな保育園ができたらいいなあ」と、年中すみれ組の子どもたちが夢の新園舎作りに挑戦しました。みんなで集めた空き箱や身近にあるいろいろな素材の中から自分で思い思いの物を選び、折る、切る、曲げる、つなぐ、貼り合わせる、描くことを楽しみながらどんどんイメージを広げ、作り上げていくことが楽しくてたまらないようでした。お家の方も子どもの「こんなふうになりたい」という思いを見守りながら、いっしょに考えたり、作ったりすることを楽しんでおられました。素材や用具の使い方にもずいぶん慣れ、自分の思いを形にしていき、それぞれ自慢の園舎が完成し、子どもたちの作品は、大人の私たちには思いつかないものばかり！夢のある発想に「おもしろい」「よく考えたね」と、感動させられるものばかりでした。

サンタさんがいつでもきてくれるように、えんとつをながくしたよ

宇宙船があるほいくえん。うちゅうせんについでうちゅうへおさんぽにいけるよ。

ながーいすべりだいがあほいくえん。すみれぐみのともだち10にんがあそんでいるよ。

夢の新園舎  
こどもの  
つづやき

どうぶつがたくさんいて、さかなつりができるいけがあつたらいいな

さいしんしきのやね、うえしたうごくよ。たくさんのおねえさん、すべりだいがあそんでいるよ

